

船舶事故調査報告書

平成29年6月22日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	火災
発生日時	平成29年4月6日 00時41分ごろ
発生場所	青森県白糠漁港北東方沖 白糠港焼山第1東防波堤灯台から真方位038°5.4海里（M）付近 （概位 北緯41°10.4′ 東経141°28.3′）
事故の概要	漁船第七万寿丸は、操業中、機関室で火災が発生した。 第七万寿丸は、船長が死亡し、上部構造物等が焼失し、沈没した。
事故調査の経過	平成29年4月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第七万寿丸、7.34トン AM2-5224（漁船登録番号）、個人所有 11.70m（Lr）×2.87m×0.92m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数90、昭和48年7月
乗組員等に関する情報	船長 男性 60歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成19年10月18日 免許証交付日 平成29年3月28日 （平成34年10月17日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	機関室、操舵室等に焼損（沈没）
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風速 約6m/s、視界 良好 海象：波高 約1m、海水温度 約5℃
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成29年4月5日昼ごろ白糠漁港焼山地区を出港し、同港の北東方沖において延縄漁の操業中、6日00時41分ごろ船長が携帯電話で機関室から出火したとの118番通報をした。 海上保安庁は、巡視船及び航空機を出動させるとともに、本船が所属する漁業協同組合に搜索救助の協力を要請した。 僚船は、本船の搜索を行っていたところ、01時45分ごろ延焼中

	<p>の本船を発見し、本船上に人影が見えなかったので付近海域で捜索中、03時09分ごろ救命胴衣を着用して漂流していた船長を発見して救助した。</p> <p>船長は、白糠漁港に運ばれ、救急車で医療センターへ搬送されたが、04時39分ごろ死亡が確認され、溺水と検案された。</p> <p>本船は、来援した巡視船艇による放水などの消火活動が実施されたものの、08時18分ごろに沈没した。</p>
その他の事項	<p>船長は、ふだんから、出港時間が決まっておらず、本事故発生場所付近をたら及びどんこの延縄漁の漁場としており、午後に出港した際は、夜中に帰港していた。</p> <p>本船は、機関整備業者により平成26年12月ごろに主機の分解整備を実施しており、ふだん、半年に1回程度の潤滑油及びびし器のエLEMENT交換を行っていた。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、白糠漁港北東方沖において、機関室から出火したものと考えられるが、船長が本事故で死亡し、本船が沈没したことから、出火した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、白糠漁港北東方沖において、機関室から出火したものと考えられる。</p>

付図1 事故発生場所概略図

